

# 4月3年進路説明会

2019.4.15進路指導部

# あなたの一番行きたい大学は

## 質問です

なぜ大学へ行きたいのですか？

大学でどう成長したいのですか？

大学で何を学びたいのですか？

大学卒業後何をしたいのですか？

# あなたの一番行きたい大学は

- ▶ 模試の判定で迷うことなく、高い志望を貫くことが合格の近道

5月にA、B判定が出たら志望が低すぎる！

合格判定の読み方

A判定・・・安心するな、あっと一歩前へ

B判定・・・ボーダーライン

C判定・・・しめた、チャレンジせよ

D判定・・・大丈夫、

E判定・・・いい判定、いける

# 結果が出るまでは時間がかかる

＜問題が解けるまでのプロセス＞

基本知識を知る

→ 知識の使い方を知る  
ここまでは授業

INPUT中心の学習

→ 問題に取り組む

→ 間違いを繰り返すなかで穴をなくす  
→ 未知の問題が解ける  
自分でやる勉強

OUTPUT中心の学習

授業以外の学習時間

平日4h

休日6h

＜模試は可能な限り受ける＞

全員模試(予備日、自宅受験も含め)は必ず受験  
希望模試は可能な限り

問題と真剣に向き合う時間が実力を飛躍的に伸ばす

解き直しまでが模試・・・「当日」と「1月後」(個人票が返却されたとき)

# 勉強の優先順位の付け方

- ▶ 入試科目の配点を知る
- ▶ 筑波大学 理工学群 応用理工学類の例

## センター配点

英語100  
国語100  
数学100  
地歴公民50  
理科100

## 個別試験の配点

英語150  
  
数学200  
  
理科200

## 勉強の優先順位

②英語250  
③国語100  
①数学300  
④地歴公民50  
①理科300

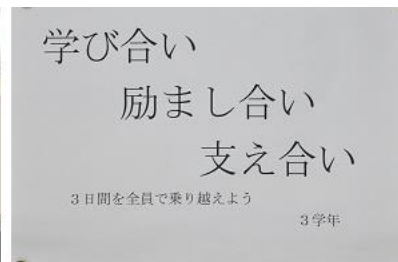
HRに常備されている「蛍雪時代」「栄冠  
目指してvol2 vol3などを参照

数字の大きさが勉強の優先順位を示す

# 夏期講習，学習マラソン

- ▶ 夏期講習の申し込みは3年は5月中旬
- ▶ 申し込んで参加しない生徒がいる
- ▶ 予習，復習をしてこそ力になる
  
- ▶ 学習マラソンで1日10時間の学習体験
- ▶ 7月（夏休み前）、10月（体育祭後）の2回
- ▶ 行事と受験のスイッチの切り替え
- ▶ みんなでやるから10時間できる

7/13～15  
10/12、13



# 入試スケジュール

## ▶ <国立大学>

- ▶ 5月～7月末： 選抜方法、入試科目等  
発表
- ▶ 8月1日以降： 国立大AO入試出願受付
- ▶ 9月末  
～10月上旬 : センター試験願書受付
- ▶ 11月上旬 : 推薦入試出願受付
- ▶ 1月18日(土) 19日(日): センター試験
- ▶ 2月末～ : 前期試験
- ▶ 3月中旬～ : 後期試験

## ▶ <私立大学>

- ▶ 4月～7月: 入試概要発表
- ▶ 7月～ : 募集要項発表
- ▶ 11月上旬 : 推薦入試出願
- ▶ 1月上旬 : 一般入試出願受付
- ▶ 1月下旬 : 一般入試
- ▶ 2月上旬 : 合格発表

# 推薦・AO入試について

	一般入試	推薦入試			AO入試
		指定校制	公募制	自己推薦	
学校長の推薦	不要	必要	必要	不要 (自己推薦書)	不要 (志望理由書)
主な選考方法	学科試験	面接 小論文	書類審査 面接 学科試験		書類審査 面接 小論文
入学辞退	可	不可	不可/可	可	可/不可

※ 上記は一般的な特徴であり、各項目について例外があります。

各大学でどのような推薦、AO入試が実施されているかは各自大学のHP等で調べ、早めに担任に相談すること。

指定校、公募制推薦の希望者は、夏休み明けの「推薦入試説明会」に参加することが応募条件になる。



# 小論文対策について

推薦入試、AO入試、または一般入試で小論文が必要な生徒は早めの対策が必要

## 1. 書く中身の充実

幅広い教養、時事問題に対する自己の考えをまとめる  
新聞記事をスクラップ、テーマに関連する書籍を読む

## 2. 書き方の習得

実際に書いて、添削指導を受ける

「**小論文指導願**」に指導をお願いする先生(どの教科の先生でも構わない)のサインをもらい、進路の係の先生に提出すること。指導してくれる先生が見つからない場合は、進路指導部で割り当てます。

# ガイダンスルームの使用

①使用できる時間・・・昼休みまたは放課後（自習時間は、使用不可）

②ガイダンス・ルーム内の資料の無断持ち出し厳禁（赤本のみ貸出）

- ・貸し出し名簿にクラス、名前、借りた日、返却日を記入、
- ・一回二冊以内、三週間以内に返却すること。

（ただし、入試間際は使用頻度が増えるので、借用期間を短縮する場合もある。）

赤本貸出は卒業生の寄贈によって成り立っています。大切に使い、また、各自購入したものは進路決定時に積極的に寄贈をお願いします。

自習室の赤本も同様です

# 3つの「合い(愛)」を合言葉に

- ▶ 受験は団体戦
- ▶ 一人ではつらくても仲間がいれば乗り越えられる

学び合い

励まし合い

支え合い